

母校に泊まって友情を深める

越河小学校6学年PTA行事 友情合宿

9月12日から13日にかけて、越河小学校で「越河小学校6学年PTA行事 友情合宿」が行われました。この催しは、さまざまな体験を通して子どもたちに思い出を作ってもらおうと同小の6学年PTAが企画し、同小の6年生やその保護者など約30人が参加。12日の蔵王自然の家の防災出前講座では、新聞紙や牛乳パックで食器などを作る体験、ダンボールでパーティションを作る体験などをしました。参加者は「友だちと一緒にさまざまな体験ができて楽しかったです。防災の知識は、災害などが起こった時に役立てたいです」と話してくれました。



▲ダンボールでパーティション作る参加者たち

スポーツで交流を深める

海老名市と姉妹都市親善少年野球交流大会

8月22日、「海老名市・白石市 姉妹都市親善少年野球交流大会」を白石川緑地公園野球場で開催しました。この日は、海老名市と本市の小学生38人が参加。海老名市選抜A・Bの2チームと白石市選抜の対戦で2試合を行い、海老名市が2勝しました。海老名市の選手たちは、本市の選手宅にホームステイをしたり試合後にスパッシュランドしろいしで遊んだりするなど、野球以外にも交流し、親ほくを深めていました。海老名市の選手は「楽しく試合が出来ました。海老名市で行われる10月の交流大会でも勝ちたいです」と、再会を楽しみにしていました。



▲真剣勝負を繰り広げる選手たち

自立と生活の安定化のために

社会福祉協議会がコープフードバンクと協定

8月20日、白石市社会福祉協議会（井上哲会長）と生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合（宮本弘代表理事）は「コープフードバンク協定」を締結しました。この協定は、生活困窮者など緊急の支援を必要とする世帯や福祉施設などに、包装の破損や賞味期限が近づいたなどの理由で販売が難しいが、まだ十分に食べられる食品を無償提供するものです。同事業連合の中村礼子事務局長は「日本では捨てられる食料が年間300～400万tあります。この協定を通して地域に根ざした社会貢献ができれば」と話していました。



▲中村事務局長（右）から提供物品を受け取る井上会長（左）

「緑のカーテン」からの贈り物

南保育園でゴーヤの収穫

8月19日、南保育園で5月28日に園児たちが苗を植え付けたゴーヤが大きく育ち、5歳児の園児15人がゴーヤの実の収穫を行いました。同園では6年前から、夏場の保育室の温度上昇抑制と節電を目的にゴーヤを栽培。ゴーヤのツルは高さ約7mまで育ち「緑のカーテン」になりました。この日収穫したゴーヤは、園児たちが近所の方々にプレゼント。ゴーヤを受け取った近所の方は「園児たちが一生懸命育てたゴーヤはおいしいですよ。ゴーヤチャンプルにさせていただきます」と笑顔で話してくれました。



▲ゴーヤを収穫する園児と保育士

安心・安全なまち実現のため連携

ジェイエイ仙南サービスと高齢者見守り協定

9月1日、株式会社ジェイエイ仙南サービスと本市は「高齢者地域見守りネットワークに関する協定」を締結しました。白石市防災センターで行った締結式で、同社の加藤啓治代表取締役社長は、「住民の皆さんが安心して暮らせる地域づくりに協力します」とあいさつ。風間市長は「この協定で高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようになります」と感謝を述べました。協定には、郵便物がたまっていたり高齢者が不自然な姿で外出していたりするなど、配達員が異変に気付いた場合、市に連絡することが盛り込まれました。



▲協定締結後、風間市長と握手を交わす加藤社長（左）

遊びがたくさん 笑顔がいっぱい

あいあいランド in 大平「夏祭」

8月26日、大平公民館で「あいあいランド in 大平『夏祭』」を開催しました。この催しは、地域子育て支援センターと大平地区民生委員児童委員協議会との共催で、就学前の子どもと保護者53人が参加。スイカ割りや野菜スタンプを使ったうちわづくり、魚釣りなど6種類の遊びを行い、笑顔いっぱい時間を過ごしていました。

参加者は「初めて参加しましたが、たくさんの遊びがあって楽しかったです」「地域の人たちと一緒に開催しているのはすごい。とても楽しかったです！」と話してくれました。



▲手づくり玩具コーナーで笑顔いっぱい遊ぶ参加者たち

全国屈指の「激坂」に1,766人が挑戦！

第29回しろいし蔵王高原マラソン大会

9月13日、「第29回しろいし蔵王高原マラソン大会」が南蔵王野営場を発着点とするコースで開催されました。大会前日にすまいるひろばで行われた「開会式&ウェルカムパーティー」では、石巻市から参加した小嶋毅さん・麻子さんご夫婦が選手宣誓を行い、大会での力走を誓いました。大会当日は、時折雨が降るコンディションの中、全国屈指のアップダウンと言われる最大傾斜が10.5%の「激坂」に、1,766人のランナーが挑戦！ 20km 50歳以上男子と10km 50歳以上女子の2種目で大会新記録が樹立されました。

出場したランナーは「『激坂』と言われているコースは伊達じゃなかったです。特に、疲れ切った時に現れる最後の坂はランナー泣かせですね」と、「激坂」を登りきった達成感いっぱいの表情で話してくれました。

本市出場選手で3位以上の入賞者は次の通りです（敬称略）。

- ・3km小学生男子(5・6年生) 1位 神原 巧(白石第一小)
- ・3km小学生男子(5・6年生) 2位 神原大翔(白石第一小)
- ・3km中学生女子 1位 川村涼華(白石東中)
- ・5km60歳以上女子 3位 櫻田和子



1\_勢いよくスタートするランナーたち 2\_開会式&ウェルカムパーティーで選手宣誓する小島ご夫婦 3\_3km小学生男子(5・6年生)1位の神原くん 4\_3km中学生女子1位の川村さん